

2020年6月19日

第12回小児がん拠点病院連絡協議会 資料

九州・沖縄ブロック

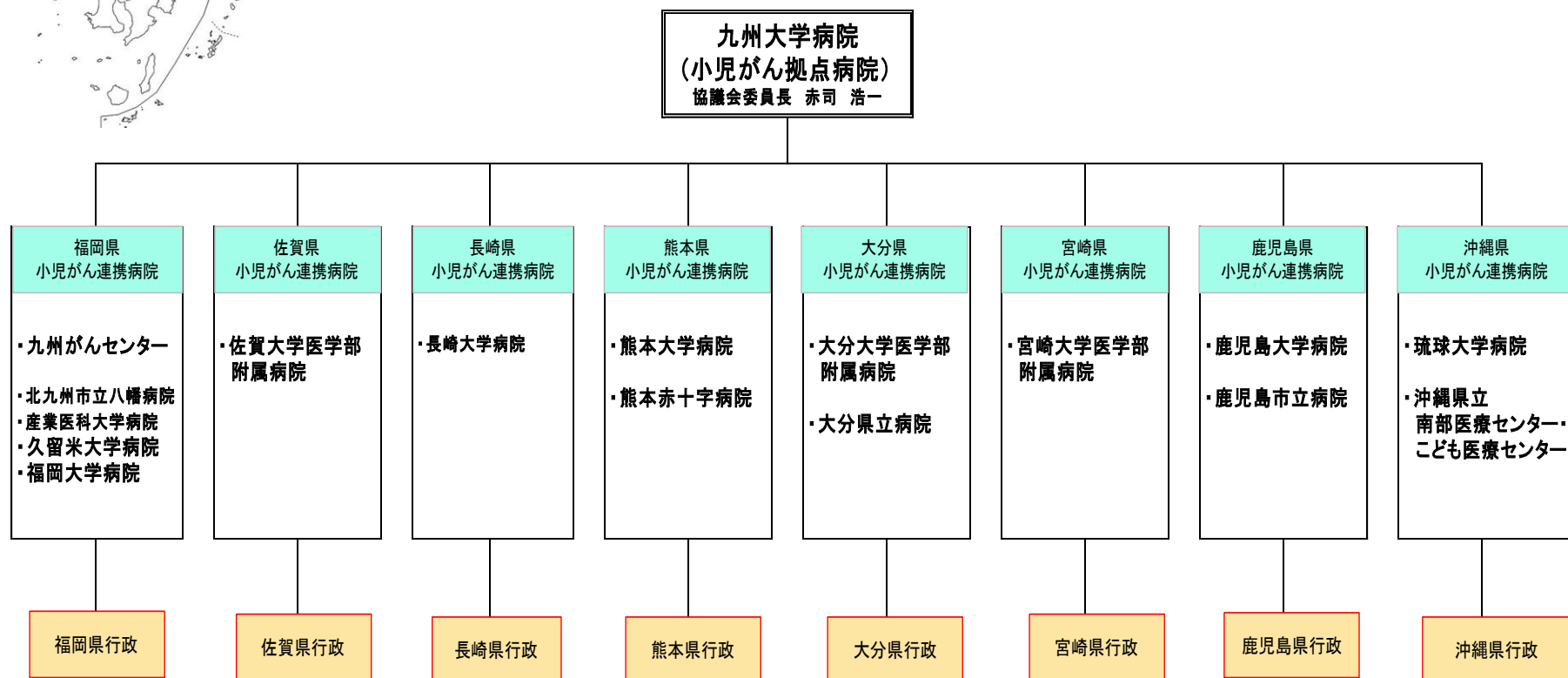
九州大学病院

小児科 教授	大賀 正一
小児科 准教授	古賀 友紀
小児外科 助教	武本 淳吉



九州大学病院
KYUSHU UNIVERSITY HOSPITAL

九州・沖縄地域小児がん医療提供体制



令和元年度より各県の行政が協議会へ参画

九州・沖縄地域 小児がん医療提供体制協議会



①令和元年度（2019）事業報告

1-1. 九州沖縄ブロックの事業

1-2. 九州大学病院の取り組み

②令和2年度（2020）事業計画

第14回 九州・沖縄地域小児がん医療提供体制協議会

開催日：令和元年9月21日（土）

場所：沖縄コンベンションセンター会議棟B 会議室B3

会議要旨

- 1) 小児がん拠点病院連絡協議会報告
- 2) 九州・沖縄ブロック小児がん拠点病院テレビ会議について
- 3) 九州大学病院小児緩和ケアチーム活動報告
- 4) 九州大学病院小児がん相談支援活動報告
- 5) 小児がん地域計画書について
- 6) 小児がん連携病院指定要件について
- 7) 地域計画書および連携病院指定に関する今後のスケジュールについて
- 8) 協議会会則について
- 9) 九州・沖縄地域各県の小児がんに関する取り組みについて

台風の影響により、協議会委員の参加が過半数に満たなかったため、小児がん地域計画書、小児がん連携病院指定要件、小児がん連携病院現況報告書について検討し、後日、書面回議を行った。



第15回 九州・沖縄地域小児がん医療提供体制協議会 (WEB会議)

新型コロナウイルスの影響により、TV会議を開催した。

開催日：令和2年3月23日（月）

場所：各連携病院でシステムを設置している場所

会議要旨

- 1) 小児がん拠点病院連絡協議会報告
- 2) 厚生労働科学研究 松本班 班会議報告
- 3) 厚生労働科学研究 大隅班 班会議報告
- 4) 九州・沖縄ブロック小児がん拠点病院テレビ会議について
- 5) 九州・沖縄ブロック小児がん看護ネットワーク会議について
- 6) 九州大学病院小児緩和ケアチーム活動報告
- 7) 九州大学病院小児がん相談支援活動報告
- 8) 九州・沖縄地域小児がん医療提供体制協議会 第4回相談支援部会
- 9) 小児・AYA世代のがんの長期フォローアップに関する研修会（LCAS）について
- 10) 小児がん地域計画書について
- 11) 小児がん連携病院指定書発行について
- 12) 九州・沖縄地域各県の小児がんに関する取り組みについて（各県行政より報告）



九州沖縄地域小児がん医療提供体制協議会 相談支援部会

開 催 日：令和2年1月10日（金）
場 所：九州大学病院（小児がん拠点病院）
参加施設数：17施設 参加者数：32名

令和元年9月21日（土）に沖縄コンベンションセンターにて開催の予定であったが、台風の影響により、延期し、小児緩和ケアチーム勉強会と同日に開催し、第2部として特別講演を聴講した。

議事概要

- 1) 小児がん拠点病院連絡協議会相談支援部会報告
- 2) 小児がん相談支援の現状・症例報告（沖縄県）
 - ・琉球大学医学部附属病院より
 - ・沖縄県立南部医療センター・こども医療センターより
 - ・質疑応答
- 3) グループ討議
 - ・説明、事例紹介
 - ・事例検討
 - ・発表
- 4) 第30回 九州大学病院 小児緩和ケアチーム勉強会 特別講演

事後アンケートより

- ・小児がんの現状と国の施策等もわかり、自分たちの支援のベクトルになった。
- ・部会報告では、なかなか情報がおりてこないこともあるため、とても参考になった。
- ・症例報告では、沖縄の先駆的な取り組みに相談員から提案できないか考えてみようと思った。
- ・他県の状況や取り組みをうかがう機会はほとんどないので、毎年この部会が勉強になるし、刺激をもらっています。



九州沖縄地域小児がん医療提供体制協議会 研修会・勉強会報告①

西日本小児血液・免疫・腫瘍研究会
(第25回九州山口小児血液・免疫・腫瘍研究会)

開 催 日：令和元年9月21日（土）・22日（日）
場 所：沖縄コンベンションセンター 会議棟B1・B5～B7
対 象 者：医師・看護師・多職種

一 般 口 演：16題（医師8・看護、多職種8）

シンポジウム①：

「IgA 腎症発症・進展機序と粘膜免疫」

琉球大学大学院医学研究科育成医学（小児科）講座 教授 中西 浩一 先生

シンポジウム②：

「食細胞異常症の基礎と臨床」

日本赤十字社中四国ブロック血液センター 広島大学名誉教授 小林 正夫 先生

特別講演：

「小児がんの外科治療の進歩」

九州大学大学院小児外科学分野 教授 田口 智章 先生

記念講演：

「白血病における遺伝性素因」

北海道大学大学院医学研究院小児科学教室 眞部 淳 先生

台風の影響により、演者が来沖できた講演のみ開催。

九州沖縄地域小児がん医療提供体制協議会 研修会・勉強会報告②

令和元年度小児がん拠点病院TV会議

開催日：毎月第4月曜日16：00～17：00
参加施設：20施設
（ブロック連携病院, 広島大学病院）
開催回数：9回（4月, 7月, 3月は休会）
主な内容：症例検討, 研修カンファレンス
事前アンケートによる討論会
小児がん拠点病院, 連携施設からの
連絡事項等

九州沖縄ブロック小児がん看護ネットワーク会議

開催日：年3回（6月, 11月, 3月の第4月曜）
参加施設：15施設
（ブロック連携病院, 広島大学病院）
第1回 「抗がん剤曝露対策について」
第2回 「小児の入院環境に関する調査
～家族の付き添いと面会状況について～」
第3回 熊本大学病院・鹿児島大学病院からの
事例検討会

九州沖縄ブロック小児がん看護ネットワーク会議 勉強会（LIVE動画配信）

開催日：令和2年2月7日（金）18：00～19：00
会場：九州大学医学部 基礎研究A棟 第一講義室
演題：「多職種アプローチによるAYA世代患者への支援」
講師：坂田 友（九州がんセンター小児看護専門看護師、移植コーディネーター）
受講者数：43名（院内：36名、院外：7名）
講演会動画視聴申込数：10件

中国・四国ブロックネットワーク会議

隣接するブロックの小児がん拠点病院として中国・四国ブロックの会議に参加しており、
医師, 看護師, 小児がん相談員が広域で連携し検討, 情報交換を行っている。



九州沖縄地域小児がん医療提供体制協議会 研修会・勉強会報告③

令和元年度小児緩和ケアチーム特別講演

開 催 日：令和2年1月10日(金)
場 所：九州大学医学部 基礎研究A棟 1階 第1講義室
参 加 者 数：123名
演 題：なぜ死生観が「時代の問い」となるのか
講 師：田代 志門 先生
東北大学大学院文学研究科准教授（社会学専攻分野）



第2回小児がんの子どもの教育を考える講演会



開 催 日：令和元年8月3日（土）
場 所：九州大学医学部百年講堂大ホール
参 加 者 数：115名

講演① 「親の会から伝えたいこと」 親の会すまいる代表 内藤 真澄 氏
講演② 「医療者の立場から現状報告」 池田 世里奈
（九州大学病院 小児がん相談支援センターこども療養支援士・小児がん相談員）
特別講演「小児がんのこどもたちの『生きる力』を育む学習・復学支援
認定特定非営利活動法人ポケットサポート代表理事 三好 祐也氏

ディスカッション「長期療養中の教育支援について考える」

九州・沖縄地域 小児がん医療提供体制協議会



①令和元年度（2019）事業報告

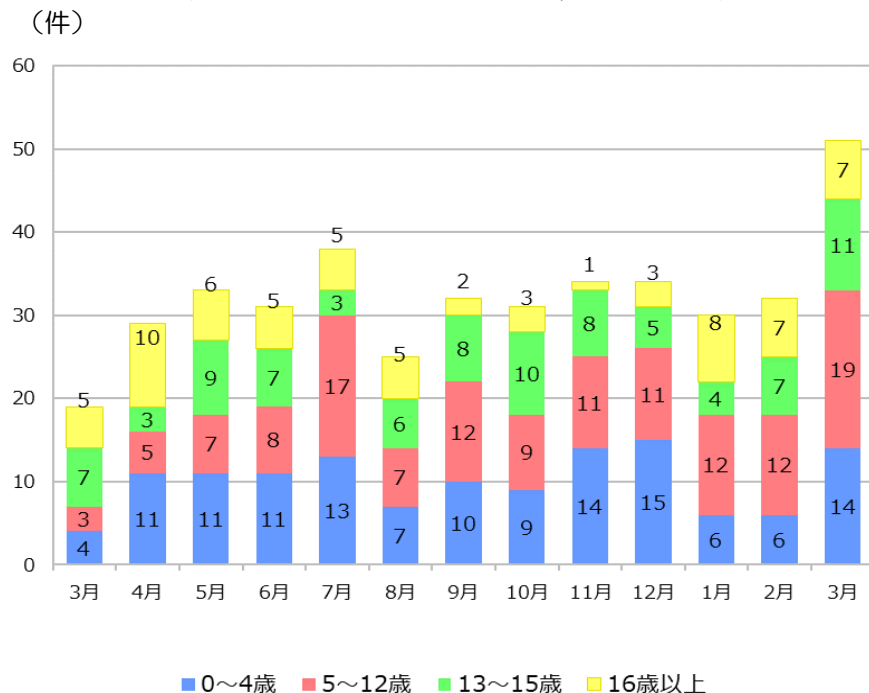
1-1. 九州沖縄ブロックの事業

1-2. 九州大学病院の取り組み

②令和2年度（2020）事業計画

小児緩和ケアチーム 活動報告

令和元年度小児緩和ケアラウンド実績（年齢別） （毎週1回：カルテ回診,病棟回診）



固形腫瘍	249
血液腫瘍	145
非腫瘍	25
令和元年度合計	419



令和元年度 小児緩和ケアチーム勉強会

開催日：年6回（奇数月）

第30回は特別講演のため院外からの参加が61名あった。
第31回はストリーミング配信を行った。

第26回	2019年5月28日（火） 17:00～17:30	こどもと薬－薬剤師の取り組み－ 薬剤部 若杉 陽子 先生	40名
第27回	2019年7月23日（火） 17:00～17:30	非悪性造血障害・原発性免疫不全症に対する造血細胞移植 小児科 石村 匡崇 先生	34名
第28回	2019年9月24日（火） 17:00～17:30	重篤な新生児および 非がん疾患の子どもと家族ケアについて 看護部 北6-1 上野 ふじ美 看護師長	37名
第29回	2019年11月26日（火） 17:00～17:30	小児がんの子どもたちと家族への社会支援 医療連携センター 柳田 有加里 MSW	27名
第30回 （特別講演）	2020年1月10日（金） 18:00～19:10	なぜ死生観が「時代の問い」となるのか 東北大学大学院文学研究科（社会学専攻分野） 准教授 田代 志門 先生	123名 （うち院外61名）
第31回	2020年3月24日（火） 17:00～17:30	CLSとして関わる小児緩和ケア 小児がん相談支援センター CLS 深澤 一菜子 相談員	20名 （うち配信6名）

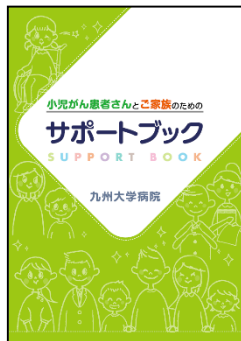
小児がん相談支援センター 活動報告

拠点病院として目指す取り組み

- (1) 相談支援部会の開催
- (2) 連携病院における相談支援の実態把握、均てん化
- (3) 九州・沖縄地域の連携病院間での連携強化

がん相談支援センター相談件数

令和元年度実績件数	
電 話	35
面 談	586
合 計	621



患者・家族向けサポートブックを作成

- 1.小児がん相談窓口について 2.医療費に関するもの 3.病気や治療に伴う障害に関して
- 4.療養生活支援 5.教育・就労支援 6.患者会・支援団体 7.情報収集 8.子供さんへのサポート

患者さんだけでなく家族や担当医師, 看護師, MSWにも有用であり, 九州という地域性に則した内容となっている。

学校連絡会のサポート

学校と病院をWEB会議システム等でつなぎ、退院が近い患者さんについてきめ細やかな情報共有が行えるよう、サポートを行っている。

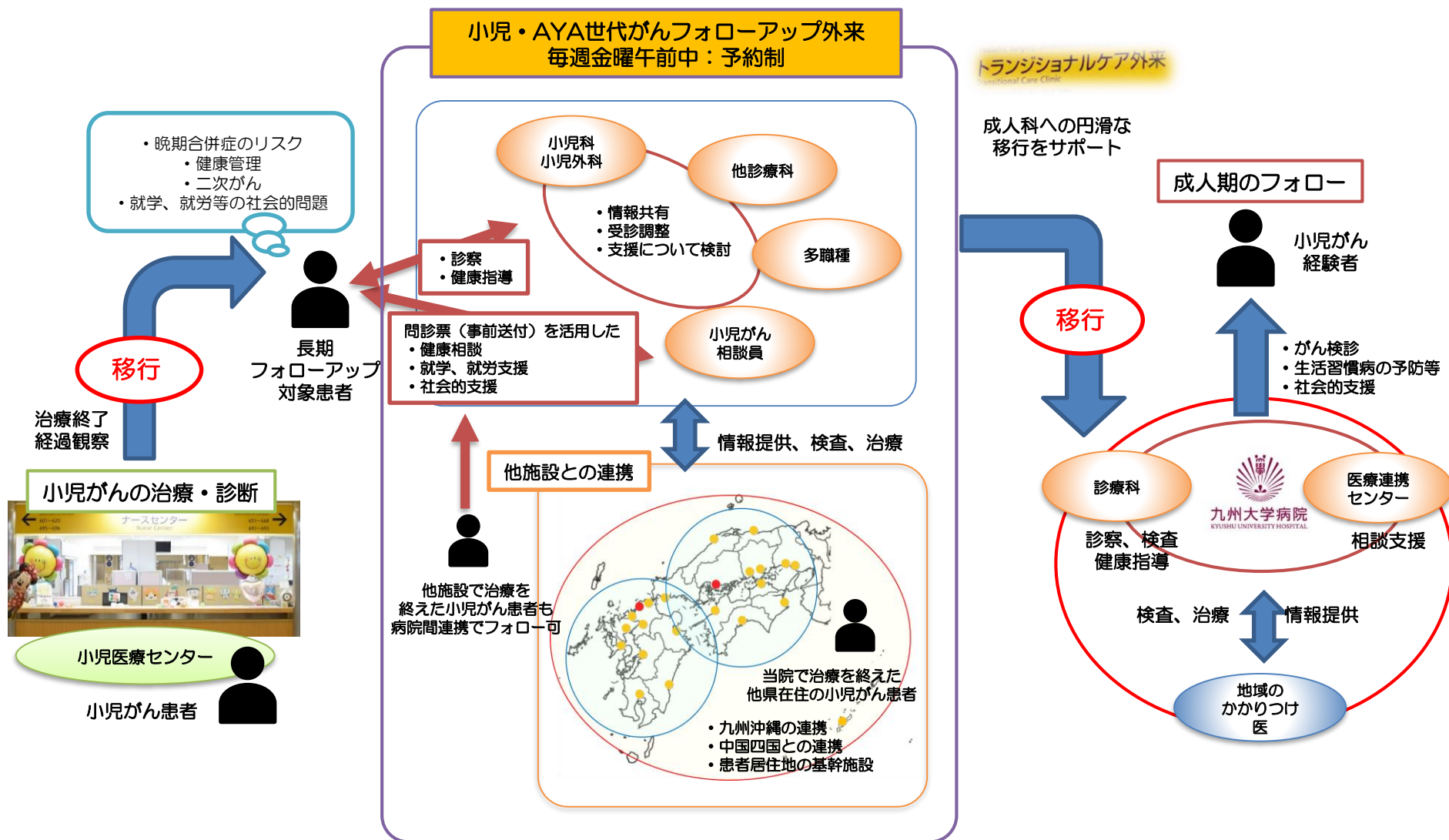
学習サポーターを導入

週1回2時間程度、主に高校生を対象に学習指導を行う学習サポーターを九州大学病院小児医療センターに配置した。
高校生以上の患者のための学習スペースで、個別のニーズに合わせた学習支援を行っている。



小児・AYA世代がんフォローアップ外来を開設

治療を乗り越えた子どもたちへ ～院内、院外の連携で切れ目のない支援を目指します～



患者の発育および教育に係る環境整備 付添い家族への支援

九州大学病院における
小児がん患者の
教育支援・復園、復学支援

未就学児：院内保育士、ボランティアによる保育活動
小中学校：院内に千代小学校・中学校病弱特別支援学級
高校生：院内関係者と地元高校教諭との個別連携、学習スペース設置

親の会、ボランティアの活動

小児がん親の会
すまいる



九大学生
ボランティア



ひつじっこクラブ

こどもの発達促進、付き添い者の負担軽減さらには看護、医学生のボランティアおよび教育を兼ねて、親の会とひつじっこクラブが合同で患児おあずかり保育を開始。家庭教師ボランティアも計画。

院内学級

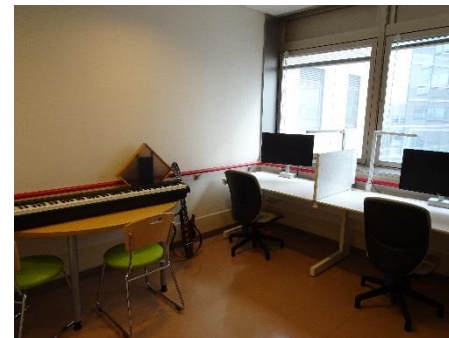
病弱特別支援学級に転籍することで学習機会を失わず治療を続けることができる。卒業式や各種イベントには医師や病棟スタッフも参加。高校生のための院内学級は未設置だが、小児がんの子どもの教育を考える講演会等を企画し、教育の必要性について啓発活動に努めている。



ファミリーハウス宿泊補助

18歳以下の子どもさんのご家族が「恵愛団森の家」を利用される際、1泊につき1000円を補助。
令和元年度の補助件数：876件

AYA世代のための学習スペース設置



平成31年3月、高校生以上の患者が学習やサークル活動に使用できるスペースを設置した。
ボランティアによる家庭教師の導入、ICTを利用した遠隔授業への対応が可能な設備を設けている。
「Study Place -AYA-」の名称は入院中の高校生以上の患者にアンケートを行い決定した。

九州・沖縄地域 小児がん医療提供体制協議会



①令和元年度（2019）事業報告

- 1-1. 九州沖縄ブロックの事業
- 1-2. 九州大学病院の取り組み

②令和2年度（2020）事業計画

◎第16回 九州・沖縄地域小児がん医療提供体制協議会

◎第5回 九州・沖縄地域小児がん医療提供体制協議会 相談支援部会

※大分大学病院と協力

開催日：令和3年1月8日（金）

場所：コンパルホール（大分県大分市府内町）

◎九州沖縄地域小児がん医療提供体制協議会研修会・勉強会

- ・九州・沖縄ブロック小児がん拠点病院テレビ会議（全10回、第4月曜日に開催）
- ・九州・沖縄ブロック小児がん看護ネットワーク会議（全3回、第4月曜日に開催）
- ・九州・山口小児血液・免疫・腫瘍研究会（令和3年1月9日・10日）
- ・九州地区小児固形悪性腫瘍研究会（令和3年1月9日・10日）
- ・リンパ管腫・血管腫に関する講演会
- ・九州・沖縄ブロック小児がん看護ネットワーク会議勉強会
- ・九州・沖縄ブロック小児がん看護研修会
- ・小児緩和ケアチーム勉強会（特別講演）
- ・小児がんのこどもの教育を考える講演会